

もっと知って欲しい、



R3.6

## 里親制度のこと vol.6

施設で暮らす子どものために、やってみませんか？

短期里親（さがみフレンドホーム）

短期里親は、児童養護施設などで生活している子どもを、週末などに月1回程度、里親家庭に招き、家庭体験をしてもらう活動です。同じ子どもが同じ里親と何年にもわたって交流をするので、次第に関係は深まり、互いにとってかけがえない存在になっていきます。

今回は、短期里親交流に取り組んでいる、施設の職員さんと里親さんの声をお届けします。

施設職員

表情が明るくなった子、他児に対して優しい言葉かけやかかわりができるようになった子、次の交流を楽しみに日常生活を頑張っている子。里親さんとの交流を通して、子どもに良い変化が見られることを職員も嬉しく思っています。

施設職員

里親さんの元で子どもが「私だけに向けられる視線」「私だけの時間」を感じることで、子どもの自己肯定感がはぐくまれており、明日へチャレンジする心を育てていただいていると感じています。



里親さん

小6~高1の4人の子と交流

施設の中

で、本人たちがやってみたいけど、できないと思っている事(好きなものを食べたい、ゆっくりと好きなテレビやDVDを観たい、川の字で寝てみたい、電車に乗ってお出かけしたい等)を少しでも体験してもらうことで生活の励みになったり、将来の夢につながってくれたらいいなと思っています。



里親さん

交流はとても楽しくて、会えるのが楽しみです。3人の子が成長した後、交流を始めましたが、まだ5才の女の子を抱っこするのは、懐かしくしあわせな気持ちでした。8才の今は、漢字の書き取りを見てあげるのも、成長していく会話を聞くのも、ゆったりとした気持ちでできて、実子にはしてあげられなかったことをやり直させてもらっているかのようです。子どもの明るく元気な声が響く交流の日は私たちの時間も生き生きして嬉しい気分です。

9月に里親さんの体験談があるよ！



里親は、自分だけに会いに来てくれる人、  
子どもにとって特別な人。

お問い合わせ

相模原市児童相談所 042-730-3500